

かたはらいたきもの 枕草子

① かたはらいたきもの、よくも音弾きとどめぬ琴を、よくも

調律し ないで 思いつきり 弾き鳴らして いる 音  
調べ で、心の限り 弾きたて たる。

② 客人などに会ひても 言ふ に、奥の方にうちとけ言など

している の 制することができないで  
言ふ を、えは 制せ で 聞く心地。

③ 思ふ人の いたく 酔ひて、同じこと したる。

④ 聞き たり けるを知らで、人のうへ 言ひ たる。

⑤ それは、何 ばかりの 人 なら ねど、

使ふ人 など だに いと かたはらいたし。

⑥ 旅立ち たる 所にて、下衆どもの ざれる たる。

⑦ にくげなる ちごを、おのが 心地 の かなしき ままに、

うつくしみ、かなしがり、これが 声のままに、言ひ たることなど

語り たる。

⑧ 才 ある人の前にて、才 なき人の、ものおぼえ 声 に

有名 な 人の名など言ひ たる。

⑨ ことに よしともおぼえぬ わが 歌を、人に語りて、

人の ほめ など したる よし 言ふも、かたはらいたし。